

修善寺温泉街から桂川の3kmほど上流に広がる邑には、豊かな自然の親水公園(右)のほか、開湯の祖と伝えられる弘法大師にちなんで桂谷八十八カ所の札所や史跡も点在。散策にもオススメです。湯舟集落にある修禅寺奥の院は791年に弘法大師が修業した場所と言われ、石段の上には阿吽ノ滝(下)が流れています。



特集

次代へバトントス

邑の実りを語り継ぐ!

見事に育った秋の実りを次代の人にもおすそ分け。そんな心意気が語り継ぐ力になって未来の邑を照らします。

特集 ● 次代へバトントス 邑の実りを語り継ぐ!

- ① 桂川の清流と中山間地特有の昼夜の寒暖差が、おいしいお米を育みます。
- ② 安全でおいしい特別栽培米ができるのは、グリーンファーム桂谷に徹底した管理指導があればこそ。
- ③ 連携する旅館組合の役員さんも田植えや稲刈りのお手伝い。温泉場と桂谷地区は、地理的要因も背景に固い絆で結ばれています。



地域の「米蔵」となる強い協力体制で

総合産業としての
観光農業実現へ

1200

年以上の歴史を持つ修善寺温泉。名所旧跡が点在する

湯の街は、「伊豆の小京都」とも称される人気の観光地です。その中央を流れる桂川を遡上していくと、やがて現れるのは、なだらかな傾斜に広がる美しい水田地帯。温泉場の喧騒とは異なるのどかな里山の景色が人々の心を癒します。

この邑では、かつては自家消費米の生産が中心でしたが、貯水機能と



田植え体験する修善寺保育園の子どもたち。食育の一環として、「桂流コシヒカリ」は地元の保育園や小学校の給食にも提供。

しても重要な田んぼの保全と景観維持のため、平成20年から独自のブランド米「桂流コシヒカリ」の栽培をスタート。農事組合法人グリーンファーム桂谷の徹底した管理指導のもと、今では食味値(米のおいしさを示す指数)が80を超える特別栽培米の産地に成長しました。その安全でおいしいお米は、相互扶助の連携体制をとる修善寺温泉旅館組合の各宿で振る舞われ、全国から訪れる観光客を唸らせています。

常に伊豆市の農業の先陣を切る邑では、この夏から、安全安心な食を提供することを目的に生産から販売を一手に担う6次産業化に着

手。その中でも、志高い邑びとが優先するのは、あくまで地域づくり。「倉庫に巨大冷蔵庫を持つことで、こまめに新鮮なお米を提供し、有事の時には地域の米蔵の役割を果たすこと」が一番の使命です。そして、そこから生まれる地域全体のより強固な協力体制が、邑の最終目標である総合産業としての観光農業の実現へつながります。

地域で消費されることから、一般市場には出回らない貴重米「桂流コシヒカリ」。そのおいしさを、ぜひ修善寺温泉で味わってください。自然豊かな邑にも足を伸ばせば、新たな修善寺の魅力に出合えることでしょう。

桂流コシヒカリのふる里

けいりゅうこしひかりのふるさと

伊豆市修善寺

- 車/東名高速沼津IC、または新東名高速長泉沼津ICから約40分
- 電車・バス/伊豆箱根鉄道線修善寺駅から伊豆箱根バスまたは東海バス「修善寺温泉場」行きで「修善寺温泉」下車、徒歩約20分



プレミアム米「桂流コシヒカリ」は、ぜひ修善寺温泉の旅館に泊まって召し上がれ!(一部旅館の売店で購入可能)

米屋事業を始動させた農事組合法人グリーンファーム桂谷。左から組合員の杉山健太郎さん、杉原由樹さん、三須誠さん。

